

第1学年 保健体育科 シラバス

1 教科の目標

- (1) 運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
- (2) 体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てる。
- (4) 運動を通して、仲間との関わり方やコミュニケーション能力を養う。

2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	○各種目の特性やルール、健康安全について理解し、学習した基本的な用語を発言したり、書き出したりしている。 ○各種目の運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	・授業取り組み ・小テスト ・技能テスト ・期末考査テスト
II 思考・判断・表現	○自分に適した課題を持って運動に取り組むことができる。 ○練習の仕方やゲームの仕方を工夫し、ポイントを押さえて運動に取り組もうとしている。 ○課題を共有し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。	・授業取り組み ・学習カード ・期末考査テスト
III 主体的に学習に取り組む態度	○集合、整列、忘れ物、見学状況等、授業への参加意欲がある。 ○説明、指示などを聞き、活動に積極的である。 ○提出物を期限内に提出できる。 ○健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	・行動取り組み ・提出状況 ・期末考査テスト

3 年間指導計画

学期	1学期（4月～7月）	2学期（9月～12月）	3学期（1月～3月）
単元	・陸上競技 ・球技 ・スポーツテスト ・水泳 ・体育理論、保健分野	・器械運動 ・球技 ・陸上競技 ・体育理論、保健分野	・武道 ・球技 ・ダンス ・体育理論、保健分野

4 学習のポイント

【知識・技能】

- ・種目ごとにABCの基準を定めて評価する。
- ・基本的な運動の技能が身についているかどうかを技能テストで評価する。
- ・主に学期ごとの定期考査で、種目ごとの基本的な知識やルールが理解されているかをテストする。
- ・保健は、授業内容を聞き、プリントやノートにきちんとまとめておくようにする。

【思考・判断・表現】

- ・自身の課題に気づき、目標をもって運動に取り組むようにする。
- ・学習を振り返り、運動のポイントや課題についてよく考え、実践しようとしている。
- ・課題を共有し、仲間へのアドバイスや、練習を工夫している。
- ・学習カード
 - A：学習を振り返り、技能のポイントについてまとめてある。また、自己の課題や問題点に気づき、次への目標が定めてある。
 - B：感想が中心で、学習内容や自己の分析などが十分ではない。
 - C：感想のみ書かれている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・得意な種目だけに一生懸命になるのではなく、苦手な種目にも積極的に取り組む。
- ・提出物の期限を守る。
- ・単元ごとに定められたルールを守り活動する。
- ・忘れ物をしない。
- ・けがなどでやむを得ない場合、可能な活動に参加する。